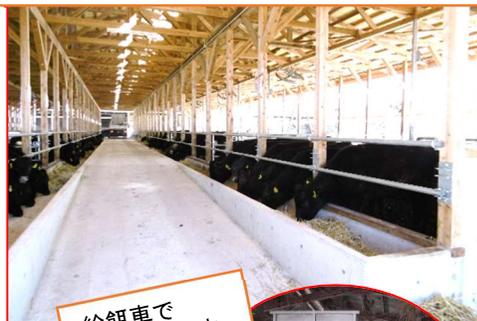


牛舎の外観:牛舎は全部で9棟あります☆



牛舎の中:1区画で6~7頭飼育しています



給餌車で
餌をあげます



食事中



おいしい♡

食事後



お腹いっぱい!

牧場だより第5弾!

~(有)哲多和牛牧場ってこんなとこです☆~



気持ちいい♡



牛さんはここをなでると
喜びます☆

っ!?



牛さんは大きな体に似
合わず、実はとても
怖がり屋さん。
無言でいつの間にか牛
さんの後ろに立っては
ダメなんです!

遊んで♪



牛さんたちは、実はとても
人懐っこいんです☆

あ〜
おむい…



食事のあと、リラックスすると
こんな感じで横になったり
するんですよ

牛さん出荷のその日まで、最後の仕上げをしています!
今回は、**肥育部門**~第1・第2農場~についてご紹介します♪

生産者からの Message

黒毛和牛は日々、研究・改良され、より霜降り肉になりやすいように改良されてきています。しかし、牛肉の味・風味などは遺伝しにくく、味には直結していません。なので、哲多和牛牧場ではお肉の味や風味を上げるためSGS(もみ米を発酵)・酒粕・米ぬか・おからなどを自家配合し、餌にこだわっています。牛さんの“命”とお肉の味や旨味を味わっていただければ幸いです。

農場長・肥育部門
部長：塚原 浩文



肥育部門は、生後9か月~29か月頃の牛たちを、出荷するその日まで病気やケガなどにならないように細心の注意を払いながら、肉用牛としての最後の仕上げと出荷を担っています。牛たち1頭1頭の食欲や普段の様子などを注意深く見ることで、病気やケガなどによる事故死を防ぎながら牛たちにとってストレスの少ない環境をつくり、しっかりと餌を食べさせ、出荷時には体重900kgを超えるような大きな肥育牛となるように育てています☆

塚原農場長は「食肉用の黒毛和牛としてこの世に生まれてきてから約2年5か月。とても貴重で大切な命を頂くために、生産者として飼育に携わる私たちの使命の1つは、この大切な命を無駄にすることなく、無事に農場から送り出すことです。」と話します。

お母さん牛と赤ちゃん牛を大切に見守りながら育てる繁殖部門、徹底した栄養と衛生管理のもと子牛を育てる哺育・育成部門、肉用牛として最後の仕上げから出荷までを見守る肥育部門、それぞれの部門で大切に大切にたくさんの愛情を注ぎながら、牛さんを育てています。

肥育移動時:生後9か月頃
体重(去勢):300~kg
体重(メス):250~260kg

出荷直前:生後28か月頃/出荷直前:生後29か月頃
体重(去勢):850kg / 体重(メス):750kg



哲多和牛牧場独自のこだわりのエサを
いっぱい食べて、こんなに大きくなるんです!



塚原部長(身長178cm)

☆こだわりのエサ作り☆

原材料を自家配合用の
攪拌機で混ぜて作ります

攪拌機



できたエサを給餌車へ

哲多和牛牧場の牛さんは、お米由来でできた手作りのエサを
食べているから脂があっさりとした美味しいお肉になるのです☆